

土づくりや減肥、病害抑制も

緑肥は、有機物の生産によって土壌中の団粒化を促し、根の伸長による下層土の硬度や水はけの改善で土づくりに役立つ。

また、根粒菌の働きで空気中の窒素を固定し、養分の蓄積や微生物の増殖を助ける効果を持ち、減肥に役立つ。さらに連作を輪作体系化し、主作物の土壌病害の抑制や土壌侵食の防止に働く。次作野菜にすき込むこ

後作トウモロコシで減肥

窒素・リン酸・カリ各5割削減

山梨県総合農業技術センター（甲斐市）は、緑肥が持つ有機物の供給効果に着目し、堆肥に替わる土づくり資材として、ヘアリーベッチを活用し、

に播種し、7月下旬に収穫する試験を行った。試験では、ヘアリーベッチの導入によって、トウモロコシに施用する化学肥料は3要素の窒素、リン酸、カリで各5割削減でき、慣行栽培と同等以上の収量が得られた。雑草の発生が抑えられ、除草作業も削減できた。化学肥料より高価な有機栽培用肥料を使わずにコスト低減に役立ち、10ア当たり2万1903円の所得増となった。



ヘアリーベッチ

ヘアリーベッチ
子（雪印種苗
株提供）

でフレールモアにより細断する。トラクターのロータリーですき込み、4月いっぱい腐熟させる。トウモロコシは5月中旬

ことば

ヘアリーベッチはマメ科。耐寒・耐雪性に優れ、越冬が可能。秋または早春に播種、春先から全面被覆する。雑草の成長を抑える他感作用もある。窒素の供給量が多い。

ソルガムイネ科。耐暑性が高く、高温を好む。春〜夏まきに適す。生育が早く、有機物の生産量が多い。カリの供給量が多い。

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

全国農業新聞

2022年(令和4年)

5月13日 金曜日
月4回金曜日発行